

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年2月10日

上場会社名 株式会社ケアサービス
 コード番号 2425 URL <http://www.care.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福原 敏雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務部長 (氏名) 岩原 満
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-5713-1611

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	5,526	6.8	228	△37.8	223	△39.1	129	△44.6
25年3月期第3四半期	5,176	5.4	367	35.8	367	40.0	233	131.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	62.47	—
25年3月期第3四半期	111.04	—

当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき普通株式200株の割合で株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益につきましては、当該分割が前事業年度の期首に行われたと仮定し計算しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	3,048	1,129	37.0	556.76
25年3月期	3,118	1,076	34.5	512.55

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 1,129百万円 25年3月期 1,076百万円

当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき普通株式200株の割合で株式分割を行っております。1株当たり純資産につきましては、当該分割が前事業年度の期首に行われたと仮定し算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	2,000.00	2,000.00
26年3月期	—	0.00	—		
26年3月期(予想)				10.50	10.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期の1株当たりの配当予想金額については、平成25年7月1日を効力発生日として普通株式1株を200株に分割する株式分割を考慮した額を記載しております。

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,480	8.2	317	△19.4	307	△21.1	175	△28.5	85.14

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期の業績予想における1株当たり当期純利益については、平成25年7月1日を効力発生日として普通株式1株を200株に分割する株式分割を考慮した額を記載しております。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	2,100,000 株	25年3月期	2,100,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	72,000 株	25年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	2,067,535 株	25年3月期3Q	2,100,000 株

当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.業績予想について

上記に記載した予想数値は、当社が現時点において合理的と判断するデータに基づいて作成しており、そのため不確定要因や今後の事業展開における状況変化等により、実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。

2.株式分割について

当社は、平成25年4月26日開催の取締役会において、株式の分割及び単元株制度の採用について決議し、平成25年7月1日を効力発生日として普通株式1株を200株へ分割し、単元株式数を100株といたしました。これに伴う平成26年3月期の配当予想及び業績予想については、該当項目をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策及び金融政策への期待感から円高是正や株高が進み、輸出関連企業を中心に業績改善の動きが見られましたが、長引く欧州の債務問題や新興国の経済停滞などの影響により、依然として先行きは不透明な状況が続きました。

介護業界におきましては、既存事業者の活動の活発化に加え、他業種からの新規参入が再び激しくなっており、また、介護事業者における法令遵守の徹底が改めて強く求められており、人員基準、設備基準及び運営基準の遵守が重要な経営課題となっております。

こうした状況下、当社は、既存事業の強化及び業務の効率化に加え、法令遵守の徹底及びサービスの向上を図るため、体制の見直しを行い、お客様一人ひとりの尊厳に共感したサービスの提供に努めてまいりました。

昨年度に引き続き、当第3四半期累計期間においても、東京を中心としたドミナントエリア拡充のため、店舗展開を推進してまいりました。5月に「訪問入浴下井草」を杉並区に開設、9月に「エンゼルケア八王子事業所」を日野市に開設、「エンゼルケア柏事業所」を千葉県柏市に開設いたしました。10月には認知症対応の「デイサービスセンター仲池上」を大田区に開設しました。

一方、全従業員とその家族の幸せを願い、働く従業員の生活力向上を目指す為の取組みとして、前事業年度より引続き賞与支給を増額し、年収の増加を図っております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は5,526百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益は228百万円（前年同期比37.8%減）、経常利益は223百万円（前年同期比39.1%減）、四半期純利益は129百万円（前年同期比44.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は、2,351百万円（前事業年度末2,376百万円）となり、24百万円減少しました。現金及び預金の減少145百万円、売掛金の増加100百万円、が主な要因であります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は、696百万円（前事業年度末742百万円）となり、46百万円減少しました。建物の減少21百万円、有形固定資産その他の減少15百万円、無形固定資産の減少17百万円、敷金及び保証金の増加12百万円が主な要因であります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は、1,333百万円（前事業年度末1,554百万円）となり、221百万円減少しました。1年内返済予定の長期借入金の減少39百万円、未払金の減少1百万円、未払法人税等の減少112百万円、賞与引当金の減少101百万円、流動負債その他の増加20百万円が主な要因であります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は、585百万円（前事業年度末487百万円）となり、97百万円増加しました。長期借入金の増加134百万円、固定負債その他の減少43百万円が主な要因であります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、1,129百万円（前事業年度末1,076百万円）となり、52百万円増加しました。配当金21百万円、自己株式の増加55百万円、四半期純利益129百万円が主な要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月15日に公表いたしました、平成26年3月期の通期の業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,165,371	1,019,725
売掛金	1,051,006	1,151,859
商品	115	224
原材料	3,661	6,344
その他	156,800	173,964
貸倒引当金	△370	△164
流動資産合計	2,376,584	2,351,955
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	306,358	284,929
その他(純額)	50,722	35,333
有形固定資産合計	357,080	320,262
無形固定資産	52,741	35,074
投資その他の資産		
敷金及び保証金	210,907	223,331
その他	122,236	118,472
貸倒引当金	△829	△1,009
投資その他の資産合計	332,314	340,794
固定資産合計	742,137	696,131
資産合計	3,118,721	3,048,086
負債の部		
流動負債		
買掛金	152,753	161,267
短期借入金	300,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	222,185	182,226
未払金	326,523	325,197
未払費用	122,998	128,362
未払法人税等	145,560	33,412
賞与引当金	132,116	30,198
その他	152,779	173,245
流動負債合計	1,554,916	1,333,910
固定負債		
長期借入金	278,964	413,301
退職給付引当金	90,381	96,879
その他	118,111	74,876
固定負債合計	487,456	585,057
負債合計	2,042,373	1,918,967

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	205,125	205,125
資本剰余金	138,075	138,075
利益剰余金	733,200	841,365
自己株式	—	△55,584
株主資本合計	1,076,400	1,128,981
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△52	137
評価・換算差額等合計	△52	137
純資産合計	1,076,348	1,129,119
負債純資産合計	3,118,721	3,048,086

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	5,176,805	5,526,240
売上原価	4,245,792	4,693,600
売上総利益	931,012	832,640
販売費及び一般管理費	563,601	604,271
営業利益	367,411	228,368
営業外収益		
自動販売機収入	1,731	1,619
事業所閉鎖損失引当金戻入額	3,544	—
その他	6,953	3,018
営業外収益合計	12,230	4,637
営業外費用		
支払利息	9,289	5,471
契約解約損	—	3,150
その他	2,866	694
営業外費用合計	12,156	9,315
経常利益	367,485	223,690
特別利益		
移転補償金	48,000	—
特別利益合計	48,000	—
特別損失		
事業所閉鎖損失	11,069	—
減損損失	6,557	—
特別損失合計	17,626	—
税引前四半期純利益	397,858	223,690
法人税、住民税及び事業税	134,617	36,457
法人税等調整額	30,055	58,067
法人税等合計	164,673	94,525
四半期純利益	233,185	129,165

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年8月29日開催の取締役会決議に基づき、自己株式72,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期累計期間において自己株式が55,584千円増加し、当第3四半期会計期間末において自己株式が55,584千円となっております。